



2022年7月5日
株式会社 阿波銀行

株式会社東みよし浄化槽整備の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、株式会社東みよし浄化槽整備（代表取締役 久保 真人、本社：徳島県三好郡）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

企業名	株式会社東みよし浄化槽整備
所在地	徳島県三好郡東みよし町加茂 5988 番地 5
代表者	久保 真人
業種	合併処理浄化槽設備設置および維持管理業
設立	2019年3月18日

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2022年7月5日



株式会社東みよし浄化槽整備

代表取締役 久保 真人

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

項目	テーマ	取組み内容	①取組みと②数値目標	SDGsのゴール	
環境・経済	環境配慮型サービス・製品の提供	持続可能な社会の実現ため、環境配慮型製品・サービスの提供を推進します	①地域住民への生活環境・水質保全強化への取組		
			②地域の水質汚染状況を2025年度までに、現状回復率10%から20%に向上		
環境・社会	環境問題の認識・理解の推進	環境問題を自分事として取り組むために、環境意識のさらなる向上に努めます。	①住民の生活環境の向上及び地域公共用水域の水質保全への積極的な取り組み		
			②(1)「東みよし町浄化槽市町村整備推進事業」に対する町民向け周知会を開催 (2)徳島県及び東みよし町と連携し年1回啓発活動を開催		
社会・経済	地域活性化・産業振興	持続可能な地域づくりのため、地域の社会的・経済的な活性化の取組みを行います。	①東みよし町と連携したPFI方式による浄化槽整備事業の積極的・地域展開		
			②2025年度までにPFI方式による整備率現状10%から30%へ増加		
環境・社会・経済	社会・環境に配慮した消費の推奨・実践	社会・環境に配慮した商品の購入・消費を企業として推奨・実践し、「エシカル消費」を推進します。	①地域貢献として災害対策への積極的協力に取り組む		
			②(1)公共施設への支援物資の提供 (2)公民館、役場他公共施設への年1回のマンホール、防災トイレの無償提供とメンテナンス		

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。